

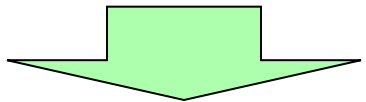
酒田市(東北圏ブロック)

【計画期間 21年3月～27年2月】※ 期間延長適用後

- ・江戸期 : 北前船交易により豪商の港町として発展
- ・明治～戦前 : 穀倉地帯を背景に重要港湾として繁栄
- ・戦後～ : 臨海工業都市、商業都市として繁栄

○昭和51年の大火により中心商店街を中心に約22.5haが焼失するも「防災都市」として復活

○市街地の拡大による人口の減少や、郊外大型店の出店等により商業機能が低下



○歩行者通行量の減少

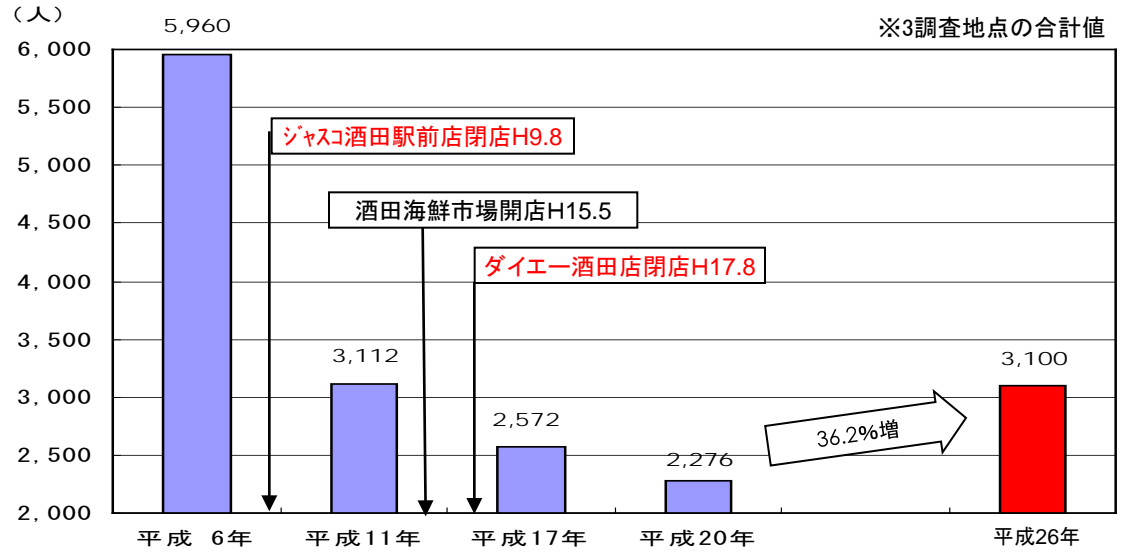
H6 : 5,960人/日
→ H17 : 2,572人/日(▲ 56.8%)

○年間小売販売額

H11 : 204億円
→ H16 : 154億円(▲ 24.5%)

目標	指標	現況値	目標値 (H26)
中心商店街の活性化	歩行者・自転車通行量(平日)	2,276人(H20推計)	3,100人
街なか観光の推進	観光施設入込数(年間)	1,549千人(H19)	1,600千人
街なか居住の促進	居住人口	2,954人(H20)	2,960人

【歩行者・自転車通行量[平日・3地点]の推移と数値目標】



- 駅前に商業・交通の核施設を整備し、中心商店街への人の流れをつくること等で賑わい創出を目指す。⇒主要事業：①酒田駅前地区優良建築物等整備事業、②中町ふれあいサロン整備事業、など
- 酒田港地区や中心商店街に観光施設を増強し連携することで観光客の回遊性の向上を図る。⇒主要事業：③海鮮モール整備事業、④酒田料亭横丁整備事業、など
- 減少する居住人口を食い止め、居住人口の回復を目指す。⇒主要事業：⑤湊マンション整備事業、⑥住宅改善支援事業、など

酒田市中心市街地活性化基本計画の事業概要

中心市街地の活性化 “にぎわいあふれる商業のまち”

- 酒田駅前地区優良建築物等整備事業等 (①)
酒田駅前の大型店跡地に駅前広場やバスターミナルを整備するとともに、ホテル、商業施設等を整備し、商業・交通結節点として来街者の利便性向上を図る。
- 中町ふれあいサロン整備事業 (②)
旧北都銀行の跡地に、音楽などのイベントの他、シネサロン カフェ・ビヤホールなどの飲食機能を有する交流ホールを整備する。
- 新産業会館整備事業
老朽化した産業会館を改築し、商工会議所・コンベンション機能等を有する交流施設として整備する。
- るんるん券事業
中心市街地でのるんるんバスの路線及び運行本数の拡充等にあわせ、バスの乗車券で中心商店街の割引サービスを受けられる事業を実施する。
- 公園スクエア整備事業
公園を新設・改修し、商店街のワゴンセールや軽トラ市、フリーマーケット、音楽などのイベントを開催する。



街なか観光の推進 “訪ねて楽しい観光のまち”

- 海鮮モール整備事業 (③)
既存の海鮮市場に隣接して、テナントミックスによる鮮魚・青果の店舗を整備し、一帯をモール化する。
- 酒田料亭横丁整備事業 (④)
中心商店街の空き地に酒田の料亭の味が手軽に楽しめる屋台村を整備する。
- 観光用自転車事業
中心市街地で観光用自転車の無料貸出を行い、観光客の回遊性向上を図る。また、現行の貸出自転車を増車する。(74台→124台)



街なか居住の促進 “暮らしやすく多様な世代が住むまち”

- 湊マンション整備事業 (⑤)
中心市街地において街なか居住を推進するため、市営船場町駐車場の用途を廃し分譲マンションを整備する。
- 住宅改善支援事業 (⑥)
中心市街地への居住誘導を図るため、住宅の新築・増改築工事に対する無利子貸付金の限度額の拡大や対象となる工事内容を拡充する。

